

市政に 対する 代表質問・一般質問

〰〰〰 11名の議員が質問〰〰〰

2月定例会の代表質問・一般質問は、2月22日・26日・27日の3日間にわたり行われました。質問の要旨は次のとおりです。

〔代表質問〕

角張 一郎 令和6年度施政方針について

高子 秀明 令和6年度施政方針について

〔一般質問〕

四竈 英夫 能登半島地震に対する支援体制について

佐久間儀郎 フレイル予防と対策について

佐久間順子 災害発生時の要支援者対策について

大内 卓也 地域公共交通計画の施策推進について

大森 貴之 防災減災対策強化について

角張 大治 まちづくり協議会について

佐藤 龍彦 会計年度任用職員の処遇について

村上 由紀 災害発生時の女性や妊産婦・乳幼児への対応について

伊藤 勝美 市長の政治姿勢について

令和6年度施政方針について

角張 一郎



めの施策」を早急に実行しなければならぬ。

現在進めている(仮称)

白石中央スマートイン
ターチエンジとその周辺
整備事業は、本市が「選
ばれるまち」になるため
の起爆剤となる事業で
あると確信している。

工業団地の整備によ
つて、人口減少対策とし
て最も重要な働く場が
生み出される。

道の駅と防災公園は
交流人口の拡大に寄与
し、本市の魅力を広く発
信することによって定
住人口の増加にもつな
がり、地域防災力を高
め、本市が「災害に強い
まち」として選んでいた
だける要因にもなるも
のと考える。

また、少子高齢化が

急速に進展する本市に
おいて、「子育て世代に
選んでいただけるまち」
になることが大変重要
であると考えている。

少子高齢化に歯止め
をかけるためには、白石
で出産ができ、安心して
子どもを育てられる体
制を確立しなければな
らない。今後子育て
世代に重点を置いた施
策を進めていく。

今後、人口規模が減
少したとしても、しっか
りと行政が機能し、市
民が不安を感じること
なく安心して住み続け
ることができるよう白石市
に変えなければならな
い。そして、急激な少子
高齢化と人口減少に対
応するためには、前例に
とらわれず、市民の皆さ
まと知恵を出し合い、将
来にわたって持続可能
な白石市をつくるため、
新たな施策に挑戦して
いく。

〔質問〕「令和6年度に
おいても、引き続き市
政課題を先送りするこ
となく、本市が持続可
能なまちであり続ける
ために、市民の皆さま
と力を合わせて、積極
果敢に挑戦します。」と
決意を述べているが、本
市で抱えている市政課
題についての認識を伺
う。

〔答弁〕「市長」大小さま
ざまな市政課題を抱え
ているが、その多くは急
速な少子高齢化と人口
減少に起因しているも
のと認識している。

まずは、「人口減少を
食い止めるための施策」
「選ばれるまちとなるた